



# 宮永岳彦記念美術館だより

2021 10月

発行/ 秦野市立宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2  
TEL / FAX 0463-78-9100

## 常設展示室



展示作品より今月の一点

《蒼い太陽》



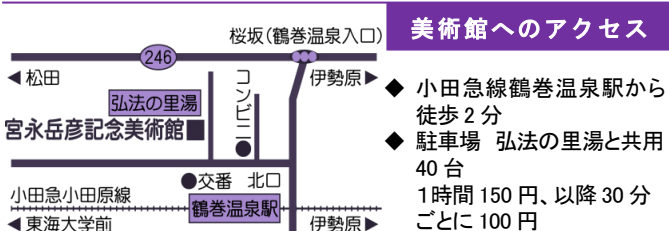
表情なく横たわる男性、天を仰ぎ嘆き悲しんでいる女性や肩に人を担ぎ立ち去る人物。遠くからその様子を眺める人は頭を抱えて絶望しているように見えます。悲哀感あふれる抽象表現と暗く青ざめた色彩で、人間の生と死について我々に訴えかけてきます。

1955年(昭和30年)、東京国立博物館でメキシコ美術展が開催され、人間の存在そのものを問いかける思想性の強い作品群は若い画家たちに衝撃を与えました。宮永もこの思潮に敏感に反応し、展覧会の翌年にこの作品を制作しました。

宮永は、戦地から生きて戻り、勤め先である銀座の終戦直後まだ焼け跡の残る様子を見ながらも、ただの一度も戦火の傷跡を描いていません。初期から晩年にいたるまで、哀しみよりは喜びを、暗よりは明を、醜よりは美を求め続けました。その中で「人間の生と死」を主題にした珍しい作品です。

油彩・キャンバス 1956年 100F

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)  
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料



《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641

10月の休館日：4日(月) 11日(月) 18日(月) 25日(月)

## 市民ギャラリーの御案内

入場無料

### ボタニカルアート 木の葉会作品展

9月28日(火)～10月3日(日)

10:00～17:00 (初日13:00から 最終日16:00まで)

ボタニカルアート作品展 小泉和江先生の御指導の下、10名の作品を展示いたします。御高覧いただけると幸いです。

### 第2回さきおり工房と織人たち展

10月28日(木)～10月31日(日)

10:00～17:00 (初日12:00から 最終日17:00まで)

昔ながらの裂き織りを現代へと甦らせる。捨てられないから織ってみるをコンセプトに温かみある作品たちです。

### 11月の市民ギャラリー展覧会の予定

|                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 蘭の会 書道展           | 11月4日(木)～11月7日(日)   |
| 佐藤庄市 個展           | 11月9日(火)～11月14日(日)  |
| 飯田欣子 作品展          | 11月16日(火)～11月21日(日) |
| 第13回東映団地写真同好会 写真展 | 11月23日(火)～11月25日(木) |
| 隼田裕               | 11月26日(金)～11月28日(日) |
| 第12回鶴巻デジタル写真教室写真展 | 11月30日(火)～12月5日(日)  |

※ 10月1日(金)から2022年4月分までの予約を受け付けています。

※ 新型コロナウイルスの影響により、変更になる場合があります。お気軽に美術館にお問い合わせください。

## 秦野と宮永岳彦

### 市内の宮永作品—大レリーフ—



秦野市東中学校には宮永岳彦デザインのレリーフが2点あります。これは1985年(昭和60年)新校舎完成の際、秦野にゆかりのある宮永のデザインにより造られたものです。校舎東面を飾る大レリーフは葉

を茂らせ、木の実を豊かに実らせた大樹でさえずる鳥たちや愛らしいリス等が描かれています。もう1点は正面玄関の東上方にあり、風見鶏のデザインです。

